

PX-K751F 準備ガイド「はじめにお読みください」

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

1. 箱の中身を確認

不足や損傷しているものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

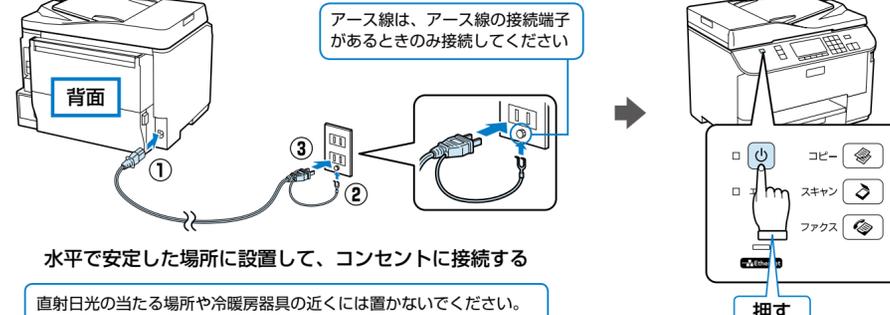
<p>本体</p>  <p>本体や排紙トレイなどに貼られている保護テープや保護材をすべて取り外してください。</p>	<p>初期充電用インクカートリッジ</p> 	<p>ソフトウェアディスク</p>  <p>ソフトウェアと電子マニュアルが収録されています。</p>
<p>電源コード</p> 	<p>モジュラーケーブル (6 極 2 芯タイプ)</p>  <p>ファクス接続時に使用します。</p>	<p>• 操作ガイド • 保証書発行請求書</p>

パソコンと本体を接続するための USB ケーブルは同梱されていません。別途ご購入ください。

2. 設置・電源の接続

警告 AC100V 以外の電源は使用しないでください。

漏電による事故防止について
本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店にご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。



アース線は、アース線の接続端子があるときのみ接続してください

エラーが発生したら
電源を切って、保護材などの取り忘れがないことを確認してから、電源を入れてください。

水平で安定した場所に設置して、コンセントに接続する
直射日光の当たる場所や冷暖房器具の近くには置かないでください。

押す 上記画面を確認する

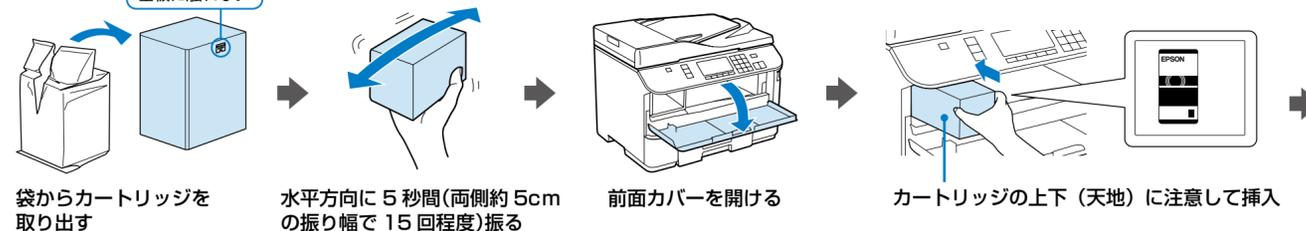
3. 日時の設定



- 【▲】か【▼】ボタンで日付表示形式を選択する
- 【OK】ボタンを押す
- テンキー（数字キー）で日付を設定する
- 【OK】ボタンを押す
- 【▲】か【▼】ボタンで時刻表示形式を選択する
- 【OK】ボタンを押す
- テンキー（数字キー）で時刻を設定する
- 12 時間表示にしたときは【▲】か【▼】ボタンで AM・PM を選択する
- 【OK】ボタンを押す

4. インクカートリッジのセット

初回は必ず付属の初期充電用インクカートリッジをご使用ください。



袋からカートリッジを取り出す

水平方向に 5 秒間（両側約 5cm の振り幅で 15 回程度）振る

前面カバーを開ける

カートリッジの上下（天地）に注意して挿入

「カチッ」と音がするまで押し込む

前面カバーを閉じる

初期充電が完了しました。初期充電がまだ終わらないときは、カートリッジをセットし直してください。

※ 同梱のインクカートリッジは初期充電用です。購入直後のインク初期充電では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

※ カタログなどで公表されている印刷コストは、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）のガイドラインに基づき、2 回目以降のカートリッジで算出しています。

充電が正常に終了し、きれいに印刷できる状態になったかどうかは、ノズルチェック機能で確認できます。
『操作ガイド』（冊子）－「お手入れ」－「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

5. 電話回線と接続

ファクスとして使用するには、付属のモジュラーケーブルで本製品を電話回線に接続する必要があります。

■ 対応回線
本製品は一般加入電話回線（PSTN）で使用できます。ただし、以下のシステムや電話回線では使用できないことがあります。

- 構内交換機（PBX）を使用した内線電話システム
- ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線
- PBX とは、企業などの内線電話システムで使われている、電話番号の最初に 0 などの番号を付けて外線発信する回線のことで、加入電話回線との間にターミナルアダプター・VoIP アダプター・スプリッター・ADSL ルーターなどの各種アダプターを接続しているとき
- デジタル回線（ISDN）

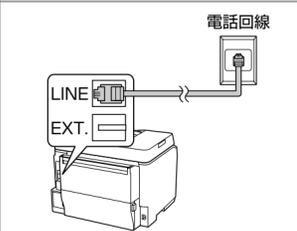
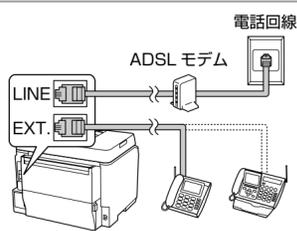
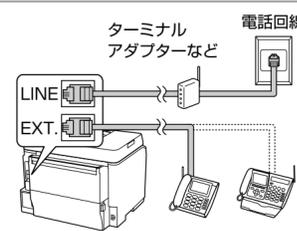
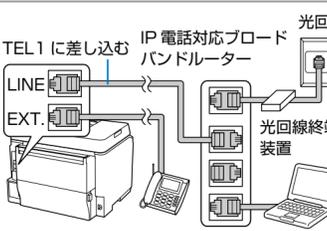
■ 接続方法
ケーブル接続のほかに、電話番号の振り分けなどの設定が必要になることもあります。詳しくは、ADSL モデムやターミナルアダプター、ダイヤルアップルーターなど接続機器のマニュアルをご覧ください。

本書で説明している接続方法は代表例です。すべての接続方法を保証するものではありません。

外付電話機を接続するときは、右図のように EXT. ポートのキャップを取り外してください。外付電話機を使用しないときは、キャップを取り外さないでください。

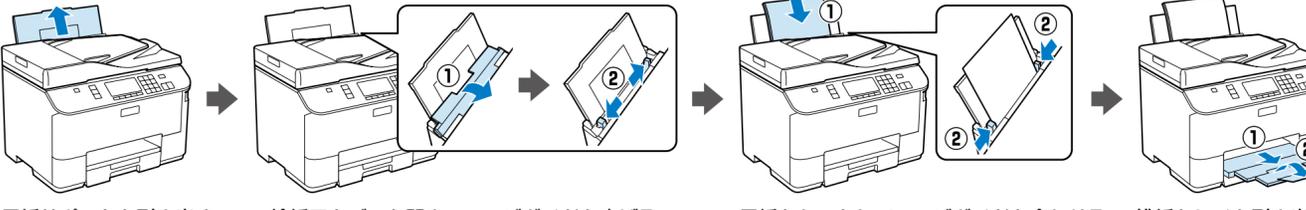
電話回線の状況や地域などの条件によって使用できないことがあります。

ドアホン・ビジネスホンには対応していません。

一般回線に接続する	ADSL 回線で外付電話機と接続する	ISDN 回線で外付電話機と接続する	光回線で接続する
 <p>電話回線</p> <p>LINE EXT. 1</p> <p>外付電話機を接続するときは EXT. ポートに接続してください。</p>	 <p>電話回線</p> <p>ADSL モデム</p> <p>LINE EXT. 1</p> <p>ADSL モデムの機種によっては、別途スプリッターが必要になることがあります。また、ADSL モデムのポート名称は機種によって異なります（「PHONE」や「TEL」など）。</p>	 <p>電話回線</p> <p>ターミナルアダプターなど</p> <p>LINE EXT. 1</p> <p>ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターのポート名称は機種によって異なります（「電話 A」や「TEL1」など）。</p>	 <p>光回線</p> <p>TEL1 に差し込む IP 電話対応ブロードバンドルーター</p> <p>LINE EXT. 1</p> <p>光回線終端装置</p> <p>回線事業者によってはファクスの通信品質が保証されていないことがあります。必ず契約している回線事業者にファクスの通信品質が保証されているか確認してください。</p>

6. 用紙のセット

背面 MP トレイに A4 サイズの普通紙をセットします。『操作ガイド』16 ページ「印刷用紙のセット」



用紙サポートを引き出す

給紙口カバーを開き、エッジガイドを広げる

用紙をセットしてエッジガイドを合わせる

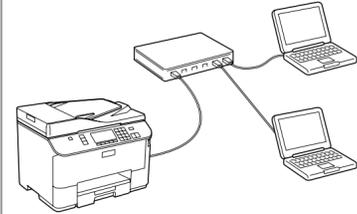
排紙トレイを引き出す

7. パソコンとの接続方法の選択

本製品は以下の接続に対応しています。はじめに、あなたが接続したい方法を選んでください。

有線 LAN と USB 接続は同時利用できます。

[A] 有線 LAN 接続

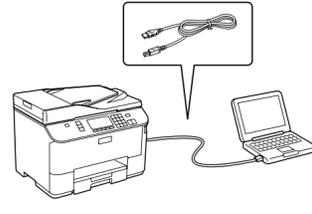


ネットワーク接続されたパソコンが必要です。お使いのパソコンに LAN ケーブルが接続されていれば、有線 LAN で接続されています。

準備するもの

- 市販の LAN ケーブル
- 市販のネットワーク機器 (ブロードバンドルーターやハブ (HUB))
- ネットワーク機器のマニュアル
- ネットワーク機器に関する不明点などを確認してください。

[B] USB 接続



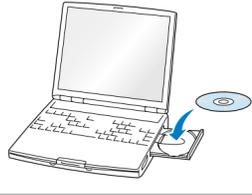
プリンターの電源を切ります。
電源
電源を切る
ここではまだケーブルは接続しないでください。
手順 8 で接続します。

準備するもの

市販の USB ケーブル

8. ソフトウェアのインストールとパソコンの接続設定

ソフトウェアディスクをセットする



- Windows 7、Windows Vista で「自動再生」画面が表示されたら [InstallNavi.exe の実行] をクリックしてください。続く「ユーザーアカウント制御」画面では作業を続行します。
- Mac OS X は [] をダブルクリックします。

画面の指示に従って進める

■インストールメニュー画面

< Windows の場合 >



< Mac OS X の場合 >



電子マニュアルは必ずチェック

■接続先選択画面 (手順 7 の接続方法)



終了
接続終了のメッセージが表示されたら、プリンターの準備は終了です。

? わからないことがあったら

- 「インストール中にわからないことがおきたら」や、「ネットワークガイド」(電子マニュアル) をご覧ください。
- ネットワークガイドは、インストールの途中で、デスクトップにアイコンが表示されたら開けます。

以上で準備は終了です。この後は「操作ガイド」(紙マニュアル) をご覧ください。

ネットワークプリンターをパソコンに追加したいときは「ネットワークガイド」(電子マニュアル) をご覧ください。

インストール中にわからないことがおきたら

? 接続エラーが表示された

画面の指示に従って機器の接続をやり直してください。それでもエラーが表示される場合は、「ネットワーク接続診断」をしてください。詳しくは、「ネットワークガイド」(電子マニュアル) - 「ネットワーク接続の確認」をご覧ください。「ネットワークガイド」(電子マニュアル) は、パソコンのデスクトップ上のアイコンをダブルクリックして表示します。



「ネットワーク接続診断」とは、プリンターとパソコン間の通信ができないなどのトラブル発生時に、どこに問題があるかを診断する機能です。

? ケーブルの接続方法がわからない

■USB ケーブルの接続方法



USB ケーブルは、上のコネクタに接続

■LAN ケーブルの接続方法



LAN ケーブルは、下のコネクタに接続

? Windows で新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された

- USB 接続を選択していたら本製品の電源を切り、「キャンセル」をクリックして画面を閉じてください。
- 有線 LAN 接続を選択していたら何もクリックせずにインストールを続行してください。

? セキュリティに関する画面が表示された

右の画面が表示されたら、「ブロックを解除する」をクリックしてください。



市販のセキュリティソフトが表示した画面で「ブロックする」や「遮断する」はクリックしないでください。それでも通信できないときは、セキュリティソフトを終了してから本製品のソフトウェアをインストールしてください。

? Windows でファイアウォール警告画面が表示された

[Windows ファイアウォールに登録] チェックボックスを選択して「次へ」をクリックしてください。



? USB 接続からネットワーク接続へ変更したい

ソフトウェアディスクからインストールをやり直してください。インストールメニューでは、「必須ソフトウェアのインストールと接続設定」(Windows) を選択して、「接続先選択」画面では、「有線 LAN 接続」を選択してください。

? 付属のソフトウェアをインストールしたい (Windows)

ソフトウェアディスクをセットし、「ソフトウェアの追加」を選択してください。



? ネットワーク接続プリンターを別のパソコンに追加したい

追加したいパソコンにソフトウェアディスクをセットしてください。インストールメニューでは、「必須ソフトウェアのインストールと接続設定」(Windows) を選択して、「接続先選択」画面では、「コンピューターの追加設定」を選択してください。お使いの機種によっては、表示される画面が異なります。



本製品の対応 OS は Windows XP (SP1 以降)・Windows XP Professional x64 Edition・Windows Vista*・Windows 7*・Windows Server 2003*・Windows Server 2008*・Windows Server 2008 R2 (以上の総称を「Windows」と記載)、Mac OS X v10.5.8・Mac OS X v10.6.x・Mac OS X v10.7.x (以上の総称を「Mac OS」と記載) です。

* : 32ビット版・64ビット版に対応。

最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

< <http://www.epson.jp/support/taiou/os/> >